

2024年12月4日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証グロース)
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3561)

富士フイルム和光純薬株式会社との抗体作製受託サービス等に関する業務提携のお知らせ

この度当社は、本日開催いたしました取締役会において、富士フイルム和光純薬株式会社（以下、富士フイルム和光純薬社）との間で、抗体作製受託サービス等に関する業務提携契約を2024年12月6日付けで締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 業務提携の理由

当社の創薬支援事業では、製薬企業や診断薬企業、大学等の研究機関で実施される創薬研究を支援するため、事業の一環として当社の保有する ADLib®システム（細胞表面提示型抗体作製プラットフォーム）を用いた抗体作製受託サービス、およびその技術を応用した抗体親和性成熟受託サービスを提供しており、この度、当社は富士フイルム和光純薬社と両受託サービスおよびそれに付随する受託サービスに関する業務提携契約を締結しました。

近年、益々拡大傾向にあるカスタム抗体市場の動向を踏まえ、両社のそれぞれの強みを活かし、市場の幅広いニーズに応じていく体制を整えることを目的としています。当社独自の ADLib®システムは、完全に *in vitro*（試験管内）のみで抗体取得が可能なプラットフォームであり、動物免疫を必要としない先進的な技術です。一方、富士フイルム和光純薬社は、先進の技術開発をベースに、さまざまな顧客ニーズに応える高性能・高品質な試薬・化成品・臨床検査薬を提供し、総合試薬メーカーとして確固たる地位を確立しています。当社は ADLib®システムを主とする先進的技術を用いたサービスを、強力な受託サービスラインアップを持つ富士フイルム和光純薬社を通じて提供することにより、多くの創薬研究に携わるお客様に革新的な技術ソリューションをお届けしてまいります。

2. 業務提携の内容

当社の以下の受託サービスを富士フイルム和光純薬社を通じて提供し、日本において拡販するために協業いたします。

- ① 抗体作製受託サービス
- ② 抗体親和性成熟受託サービス
- ③ 上記に付随する受託サービス

3. 契約相手先の概要

| | | |
|---------------|------------------------|------|
| (1) 名 称 | 富士フイルム和光純薬株式会社 | |
| (2) 所 在 地 | 大阪府中央区道修町三丁目1番2号 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 吉田 光一 | |
| (4) 事 業 内 容 | 試薬、化成品ならびに臨床検査薬の製造・販売 | |
| (5) 資 本 金 | 2,339百万円（2024年3月31日現在） | |
| (6) 設 立 | 1922年6月 | |
| (7) 大株主及び持株比率 | 富士フイルムホールディングス株式会社 | 100% |

| | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------|-------------|----------|--|
| (8) 上場会社と当該会社との関係 | 資 本 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| | 人 的 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| | 取 引 関 係 | 該当事項はありません。 | | |
| | 関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況 | 該当事項はありません。 | | |
| (9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態 (単位: 百万円) | | | | |
| 決算期 | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 | |
| 純 資 産 | 59,068 | 63,365 | 74,728 | |
| 総 資 産 | 111,194 | 105,939 | 105,160 | |
| 売 上 高 | 108,226 | 111,789 | 113,501 | |
| 営 業 利 益 | 14,347 | 14,706 | 13,153 | |
| 経 常 利 益 | 14,543 | 17,196 | 15,334 | |
| 当 期 純 利 益 | 10,124 | 12,761 | 11,429 | |

4. 日程

| | |
|-------------|------------|
| (1) 取締役会決議日 | 2024年12月4日 |
| (2) 契約締結日 | 2024年12月6日 |
| (3) 効力発生日 | 2024年12月6日 |

5. 今後の見通し

本件は当社の創薬支援事業における将来的な収益力の強化に寄与するものと想定しておりますが、2024年12月期業績に与える影響については軽微です。

以 上

<富士フィルム和光純薬株式会社について>

富士フィルム和光純薬は総合試薬メーカーとして、先進の技術開発をベースに、さまざまな顧客ニーズに応える高機能・高品質な試薬・化成品・臨床検査薬を提供しています。試薬事業では、試験・研究用途で用いられるケミカル試薬とライフサイエンス試薬を幅広いラインアップで提供しています。化成品事業では、半導体や日用品、医薬品、化粧品といったさまざまな製品に使用される原料・中間体を提供しています。臨床検査薬事業では、がんや生活習慣病などの予防や早期発見・治療を実現するために、医療を支えるさまざまな検査薬検査機器などを提供しています。